

News & Scope Handai Hospital

阪大病院ニュース

第27号

発行/大阪大学医学部附属病院広報委員会(総務課)
http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp

禁転載

(この紙面は再生紙を使っています)

住所/〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15 TEL/06-6879-5021

総合周産期母子医療センター開設

危険な妊産婦、重症の新生児を24時間受け入れ

阪大病院に今年4月からリスクの高い妊産婦や超低出生体重児など重症の新生児を24時間体制で受け入れることができる、妊産婦と新生児のための救命救急センターといえる総合周産期母子医療センターが開設されました。安心して子どもの産める社会をバックアップするものと期待されています。

安心して出産できる社会をサポート

阪大病院ではこれまで、妊娠から出産までをトータルに診ることのできる母体・胎児集中治療管理室(MFICU)と新生児集中治療管理室(NICU)について、スタッフ、設備の充実を図ってきました。また、リスクの高いお産や対処の難しい早産児などを受け入れ、地域の産科、小児科救急医療に貢献してきたことが大阪府から認められ、府内では5番目のセンターとして発足となりました。

産婦人科医、小児科医、助産師、看護師ですが、麻酔科や小児外科、脳外科、眼科、心臓血管外科、内科系診療科など各診療科の医師との連携を深めて、あらゆる状況に対応できるように努めています。また、阪大病院には高度救命救急センターがあり、最重症の妊産婦の対応もできるようになっています。

流産や重症の妊娠高血圧症候群や胎児に異常のある妊産婦。また、早産などによる体重2000g未満のハイリスク児や体重1000g未満の超低出生体重児、心臓などに異常のある新生児などです。

阪大病院はこれまで、緊急に高度の医療で対処する必要がある妊産婦や新生児を受け入れる医療施設検索ネットワークである大阪府の新生児診療相互援助システム(NMCS)と産婦人科診療相互援助システム(OGCS)に加入して

ました。平日は、ほぼ1日に2回、休日は1回、OGCSとNMCSのサイバーにアクセスして、他医療施設の動向をチェックするとともに、「空床あり」などの新しい情報を入力してきました。センター発足以前の昨年4月から今年2月までのOGCSにおける「空床あり」の情報は244回提供し、49人を受け入れました。

阪大病院は府内だけでなく、近隣の他府県にも情報を流し、奈良県からは毎年1〜2回の母体の搬送がありま

す。新生児に関しては、近畿だけでなく、東北や東海、四国からも受け入れています。将来的にはドクターヘリの運用も考えており、遠隔地への医師の派遣も考えています。

また、講座では美容医療の安全性を高めたり、美容外科の手術手技に関する質の向上を図ったりするために、情報を集めます。さらに、美容医療に使われる物質に関する研究も行っています。

外来担当の矢野健二寄附講座教授は「美容医療に関するトラブルは公の病院では相談しにくい。また、なかなか表面には現れにくいものです。そのため、予想とは違う結果となつて別の美容医療機関を渡り歩き、さらに悪化してしまうケースもあります。おかしいと感じたら一度受診してみたい」と話しています。

大阪大学大学院医学研究科に4月から寄附講座の美容医療学講座が開設されました。臨床部門として外来をスタートさせました。美容に関するトラブルは表面には現れにくいものです。治療を行った医療機関との間の相談窓口がわからず、患者さまが泣き寝入りしてしまったりしていることが多いからではないかとされています。

特に最近では、シワ取りや豊胸手術などに不純物を含むヒアルロン酸などの物質を注入する「切らずにできる」プチ整形がはやっており、隠れたトラブルが増加する可能性が高いといわれています。

プチ整形「おかしい」と感じたら

美容医療相談外来へ

多く、これから問題が表面化してくると予想されています。また、すでに、脂肪吸引や隆鼻術、二重まぶたなどでも手術の失敗などによる訴訟なども起こされています。

治療、薬処方はず適切な医療機関紹介

美容医療相談外来は毎月第3日曜日に完全予約制で、1人1時間。午前3人、午後3人。費用は自費診療のため、3万1500円。電話での予約は受け付けていません。郵送(〒565-0871 吹田市山田丘2-2、大阪大学医学部美容医療学寄附講座)E-mail(psurg@psurge.med.osaka-u.ac.jp)のいずれかで、申し込んでください。

市民の皆さまに阪大病院を知っていただくために

見学の参加者を募集



母体・胎児集中治療管理室(MFICU)

大阪大学大学院医学研究科に4月から寄附講座の美容医療学講座が開設されました。

美容医療相談外来は毎月第3日曜日に完全予約制で、1人1時間。

費用は自費診療のため、3万1500円。

電話での予約は受け付けていません。

郵送(〒565-0871 吹田市山田丘2-2、大阪大学医学部美容医療学寄附講座)E-mail(psurg@psurge.med.osaka-u.ac.jp)のいずれかで、申し込んでください。

市民の皆さまに阪大病院を知っていただくために

見学の参加者を募集

阪大病院では、大学病院を広く市民の皆さまに知っていただくために、病院見学会を下記のとおり実施します。いつもは見ることのできない、病院の裏方の仕事や一般の人には入れない部署の見学もあります。気軽にご参加下さい

- ・対象者 一般市民(成人、個人)
- ・実施日時 平成19年9月28日(金)
- ・募集人数 15人程度(申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます)

- ・応募期限 平成19年9月14日(金)
- ・申込方法 電話、はがき、FAXまたは電子メールで氏名、性別、年齢、住所、電話番号をご記入のうえお申し込み下さい。
- ・その他 申し込みをいただいた方には、後日採否をお知らせします。

連絡先 〒565-0871 吹田市山田丘2-15
大阪大学医学部附属病院総務課広報係
TEL:06(6879)5020・5021
FAX:06(6879)5019
E-mail: ibyousoumukouhyo@ns.jim.osaka-u.ac.jp

大南恵一センター長(小児科学)は「医療機関における産科、小児科の危機が叫ばれ、安全で安心してお産のできない状況が生まれてきています。センターを核として、地域の周産期医療をより充実させ、明日を担うかけがえのない小さな命の誕生と健やかな発育、そして、その子を守り育てる母親の健康を守っていきたくと考えています」と抱負を話しています。

乳がん手術のパイオニア

乳腺・内分泌外科

乳がんや甲状腺がんの治療を行う阪大病院の乳腺・内分泌外科は国立大学病院の中でも歴史があり、パイオニア的存在です。治療するだけでなく、女性の患者さまがほとんどの

ため、心の問題も考え美容面でも満足している。美顔面でも満足している。ただの最先端の手術を行い、新たな治療法の開発にも力を入れて

美容面でも最先端

乳がんになる人が最も多く、年々増加しています。乳がんに対する関心が高まっているからです。乳がんは早期に見つかれば、乳房温存療法が可能で、乳がんを失わずに治るようになってきました。しかし、乳房が残せても、手術跡が目立ち、乳房が変形してしまったりしては、水泳や温泉などに行くのをためらうようになってしまっています。通常、腫瘍の大きさが3センチ以下を乳房温存

手術件数とその内訳

	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年
乳がん手術					
乳房切除術	106	103	105	96	84
乳房温存術(内視鏡)	80	56(9)	58(6)	65(8)	103(7)
全乳切除術(小計)	7	9	7	12	8
(一期再建筋皮弁形成術)	(193)	(168)	(171)	(173)	(195)
(センチネルリンパ節生検)	(30)	(39)	(39)	(48)	(54)
(センチネルリンパ節生検)	(165)	(149)	(132)	(110)	(152)
乳腺腫瘍摘出術(内視鏡)	60(3)	37(3)	29(3)	28(4)	31(5)
乳管区域切除術	12	16	10	9	6
甲状腺がん手術	23	32	24	25	39
甲状腺腫切除術(内視鏡)	11(5)	15	14	15	11
甲状腺機能亢進症手術	4	6	4	3	0
上皮小体手術	2	9	6	6	5
その他	32	28	36	48	42

術の対象としていますが、私たちの診療科では手術ができるだけ小さく、目立たないよう、内視鏡を使った手術を開発しました。すべての患者さまに行えるわけではなく、可能な患者さまには内視鏡手術を行っています。それでも、乳房温存手術では、乳房の形をそのままに保つことはなかなか難しい問題です。形成外科の協力を得て、腫瘍摘出と同時に乳房の形を整える一期再建筋皮弁形成術を行っています。一度の手術で済みますので、患者さまにとって負担が非常に少ない手術です。この手術を行って、多くの患者さまが来られています。乳がんはリンパ節転移にも気をつけなければいけません。これまでの手術ではわきのリンパ節再発の予防とリ

総白診療外来

患者さまに最適な医療を選択

阪大病院の総合診療外来では、総合診療部及び内科系診療科の医師により紹介状のない初診の患者さまがどの診療科を受診すればいいのかや、紹介状があってもどの診療科に診てもらおうかが書かれていない患者さまを診療することが主となっています。さらに、眼科や耳鼻咽喉科などの他の診療科に通院治療されている患者さまが、その診療科では対応できない症状を訴えられた際に、受診されることもよくあります。

国内初の同日4臓器移植手術

阪大病院は、心臓、肺、心臓同時、肝臓、脾臓、腎臓のすべての臓器移植の実施施設としてわが国で唯一、認可されていますが、

2回目の脳死片肺移植も

肺リンパ脈管筋腫症の40代女性に対して、

7対1 看護職員配置基準取得に向けて若い仲間が増えました

患者さまに手厚い看護を提供できるように、入院中の患者さま7人に対し看護師1人が勤務する配置基準の取得に向け、例年の採用者数を圧力的に上回る看護職員233人が今年4月採用されました。新採用者は、患者さまから信頼される看護職員となるよう、全体でのオリエンテーションと看護技術演習の後、病棟に配属され、さまざまな教育指導を受けます。オリエンテーションは、看護部での教育の概要説明に始まり、「自己の健康管理とメンタルヘルズ」や「身だしなみ」などの社会人としての自覚に関する注意事項から、看護部の一員として知っておかなければいけない「看護師の責任と倫理」「感染管理」「看護記録・情報システム」や病院ボランティアなど他部門の紹介、「患者体験者として看護師に望むこと」のテーマでの講義など盛りだくさんのプログラムで行われました。看護技術演習では、看護技術に自信の持てない新採用者に対して、単に看護技術の演習だけでなく評価を含めて8日間行われました。教育委員をはじめ多くの先輩看護師が指導にあたり、新採用者同士がお互いに患者役になり、充実した演習を行うことができました。

がんフォーラム2回目も盛況

第2回阪大病院「がん診療」市民公開フォーラムが6月23日に医学部講義棟で開かれました。第1回と同様に多数の参加応募があり、会場がほぼ満員となる217人が受講されました。

今回はわが国に多いがんの最新治療の講義として、子宮がんと乳がんを取り上げ、それぞれがんの発生のしくみから検診の重要性、さらに最新の治療について、診療科長がわかりやすく話しました。

また、4月1日に施行されたがん対策基本法においても重点的に取り組む課題とされている放射線治療について、各種がんにおける放射線治療の意義と効果、最先端の粒子線治療やサイバーナイフについて、放射線治療科長が解説しました。

参加された市民の方々から多数の質問があり、多くの市民ががん医療に高い関心を持たれていることが強く感じられました。今後もフォーラムを開催していく予定です。

七夕コンサートで涼

恒例となった七夕コンサートが、7月6日に開かれました。クリスマスコンサートとともにすっかり定着し、最近では近隣住民の皆様も楽しみにしていただいています。

今年も、医師を中心とした演奏に加え、人気のフラダンス=写真=も披露され、夏にふさわしいコンサートとなりました。



病院HPがリニューアル

阪大病院ホームページ (http://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/) を、「患者さんの目線を見たホームページを目指す」をコンセプトに、6月に内容を充実しリニューアルしました。

今回のリニューアルでは、「患者さま」「医療関係者」「当院で働きたい方・ボランティア希望の方」というように利用者のニーズにより検索できるように分けました。

また、担当医師の休診情報を掲載するなど患者さまのお役に立てるよう内容を充実しました。

アメリカのリハビリ事情学ぶ

阪大病院フォーラムにおいて、海外の大学・病院との連携、交流体制の推進の一環として、アイオワ大学整形外科リハビリテーション部のニール・シーガル医師を講師に迎え、「アメリカのリハビリテーション医学最前線」についての講演会を開きました。

よどみない日本語を交えての講義で、米国のリハビリテーションに関する医療制度、慢性疼痛患者への多職種アプローチ、患者のQOLに配慮したさまざまな義肢などについて最新の知見を学びました。



技術演習風景

7対1 看護職員配置基準取得に向けて若い仲間が増えました

患者さまに手厚い看護を提供できるように、入院中の患者さま7人に対し看護師1人が勤務する配置基準の取得に向け、例年の採用者数を圧力的に上回る看護職員233人が今年4月採用されました。新採用者は、患者さまから信頼される看護職員となるよう、全体でのオリエンテーションと看護技術演習の後、病棟に配属され、さまざまな教育指導を受けます。オリエンテーションは、看護部での教育の概要説明に始まり、「自己の健康管理とメンタルヘルズ」や「身だしなみ」などの社会人としての自覚に関する注意事項から、看護部の一員として知っておかなければいけない「看護師の責任と倫理」「感染管理」「看護記録・情報システム」や病院ボランティアなど他部門の紹介、「患者体験者として看護師に望むこと」のテーマでの講義など盛りだくさんのプログラムで行われました。看護技術演習では、看護技術に自信の持てない新採用者に対して、単に看護技術の演習だけでなく評価を含めて8日間行われました。教育委員をはじめ多くの先輩看護師が指導にあたり、新採用者同士がお互いに患者役になり、充実した演習を行うことができました。

ホスピタルミニニュース

国内初の同日4臓器移植手術

2回目の脳死片肺移植も

7対1 看護職員配置基準取得に向けて若い仲間が増えました